

【阿武町】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

山口県の日本海沖にある断層で地震が発生したことを想定し、避難訓練や大規模災害発生時の避難所生活を体験することにより、災害時における的確な判断力や行動力を育成するとともに、地域住民と協力して災害を乗り越えようとする強い心や思いやりの心、集団生活におけるリーダーとしての資質を養う。



実施内容

- 1 実施日時：平成27年8月21日（金）・22日（土）
- 2 実施場所：阿武町町民センター
- 3 参加者：みどり保育園園児47人、阿武小学校児童15人、阿武中学校生徒14人、県立奈古高等学校生徒20人、保護者3人、教職員13人
阿武地区住民12人、阿武町消防団6人、町防災担当部局1人
阿武町教育委員会6人、山口県教育委員会1人

4 プログラム

【1日目】8月21日（金）

14:00	14:20	15:40	16:00	18:00	19:30	20:30	21:00
学校集合	避難訓練	指導講話	開会行事	【研修Ⅰ】 生活スペースづくり	夕食	【研修Ⅱ】 避難所生活に必要な表示づくり	就寝準備 就寝

【2日目】8月22日（土）

6:00	7:00	9:00	11:30	11:45	12:00
起床	ラジオ体操	朝食 清掃活動	【研修Ⅲ】 地域探訪 (消防団員と地域を歩く) ----- ハザードマップづくり	閉会行事	保引渡 き渡 へし の

5 活動の様子

1日目

《避難訓練》

町の防災無線からの訓練連絡を受けて、県の学校防災アドバイザーや町の防災担当部局の職員が見守る中、阿武中生徒がみどり保育園園児を、奈古高生徒が阿武小児童を援助しながら阿武町町民センターに避難しました。



〔中学生が園児を誘導〕



〔高校生が小学生を誘導〕



〔避難所に到着〕

《避難所での生活スペースづくり》

地域の防災担当の人たちから、避難所でのプライベートスペースの必要性を学びました。その後、地域の方と生活スペースをダンボールで作りました。



〔避難所生活を考える〕



〔生活スペースの作成〕



〔生活スペースの作成〕

《夕食・避難所生活に必要な表示づくり》

夕食は、日赤奉仕団の方に、非常食（アルファ化米、保存用豚汁）を準備していただきました。その後、避難所生活のルールを考え、必要となる表示づくりを作成し、会場に掲示しました。



〔夕 食〕



〔表示づくり〕



〔グループ発表〕

2日目

《地域探訪》

5グループに分かれ、消防団の方と一緒に、地域の危険箇所等を見て歩きました。消防団の方から、奈古地域で想定されている津波などの自然災害と危険箇所等の説明を受けました。



〔町防災担当、消防団の説明〕



〔海拔高度について〕



〔危険箇所について〕

《ハザードマップづくり》

消防団の方に助言をいただきハザードマップを作成しました。防災の立場から自分たちの町の様子を考えるよい機会になりました。



〔ハザードマップづくり〕



〔ハザードマップづくり〕



〔グループ発表〕

※ 地域住民への啓発

《公民館での紹介》

2日間の取組や5つの班が作成したハザードマップ等を掲示し、公民館を利用される地域の方々に紹介しました。



〔防災キャンプコーナー〕



〔活動を振り返る子どもたち：表〕



〔ハザードマップ：裏〕

《広報紙等による紹介》

「広報ABU あぶ9月号」の中で、防災キャンプの様子が紹介されました。



〔表紙の写真〕



〔P6『まちの話題』で紹介〕



〔トップページ左下〕

〔阿武町役場 HP から閲覧可能〕

《児童生徒アンケート結果（小学生・中学生・高校生）》

※宿泊体験を行った児童生徒対象

No	項目	とても	まあまあ	あまり
①	以前よりも災害に対する考えが深まりましたか？	19	4	0
②	「避難する」ことの大切さがわかりましたか？	20	3	0
③	「自分でできること」が見つかりましたか？	10	13	0
④	避難所での生活体験が、今後に活かされると思いますか？	16	6	1

《感想》

- 災害はいつ起こるか分からないので、準備しておくことが大事だと思いました。(小5女子)
- 自分の家の周りで、津波や土砂崩れに気を付けておくことが大切だと感じました。(小6男子)
- みんなで寝るときに少し不安になった。本当の災害の時だと、もっと人が多いから大変だなあと感じました。(中1女子)
- 災害時の対応をするために多くの方々の支えがあり、協力して関わってくださっていることを知り、学校や地域の皆さんへの感謝の気持ちをもって欲しい。不便であるという体験は、とても貴重だと思いました。(小保護者)
- 防災キャンプの様子を話してくれました。本当によい経験ができたと思います。ありがとうございました。家庭でも防災について話題とし、災害が起こったときに対応できるよう準備したいと思います。娘には今回の経験を生かし、防災に限らず、自分で考え適切な行動がとれる人になってほしいと思います。(中保護者)
- とてもよい試みだと思いました。理想を言えば、小学校・中学校段階でそれぞれ1度ずつ、親も一緒に参加できればなお成果が上がるのではないのでしょうか。また、奈古高生がリーダーとして活躍していたことも素晴らしかったです。同じ地域に暮らす者同士、縦のつながりも深まりました。2日目、子どもたちと実際に歩いてみて、地域のことがよく分かり、とってもよい学習の機会となりました。(スタッフ)